

**リチウムイオン電池の開発・製造企業による安全性評価サービスを開始
～安全性評価拠点「NECOLABO」を開設、原因分析から設計改善の提案まで対応～**

2026 年 10 月 30 日

大阪ガス株式会社

Daigas グループのエナックス株式会社（以下、エナックス）は、山形県米沢市にリチウムイオン電池の安全性評価拠点「New Energy Collaboration Laboratory（以下、NECOLABO（ネコラボ）」を開設し、10 月 2 日に竣工式を開催しました。

NECOLABO では、安全性試験や不具合解析などを通じて、リチウムイオン電池の開発や品質向上を支援する新たな安全性評価サービスを提供します。電池の最小単位であるセルから電池パックまでを一貫して開発・製造する企業が安全性評価を受託するサービスは国内でも珍しく、先進的な取り組みです。



関係者によるテープカットを実施

リチウムイオン電池の安全性評価を担う「NECOLABO」

NECOLABO は、リチウムイオン電池の性能や安全性を評価し、製品開発に生かすための拠点です。

リチウムイオン電池は電気自動車や再生可能エネルギー向け蓄電池に加え、ロボットやドローンなど新たな分野での活用も広がり、その需要はより一層高まっています。社会インフラを支える重要な存在である一方で、発火や熱暴走といったリスクへの対応も欠かせません。

電池を安全に活用するには、完成した製品を確認するだけでなく、開発段階からさまざまな状況を想定して性能や安全性を確かめ、設計に反映する必要があります。また、市場に出た後に不具合が生じた場合には、その原因を詳しく調べることも重要です。こうした安全性評価へのニーズの高まりを背景に、エナックスは NECOLABO を開設しました。



安全性評価拠点「NECOLABO」

開発・製造の知見を生かした先進的な安全性評価サービス

NECOLABO では、安全性や耐久性の評価、不具合解析、規格・認証に向けた試験など、リチウムイオン電池の開発に必要な一連の評価工程を集約し、ワンストップで提供します。さらにセル単体のみならず、複数のセルを組み合わせた電池パック全体を対象とした総合評価にも対応します。

それを可能にしているのが、エナックスが長年にわたり培ってきた電池開発の知見です。エナックスは1996年の創業以来、約30年にわたりリチウムイオン電池の開発に取り組み、セルや電池パックの構造、製造工程に関する技術を蓄積してきました。

NECOLABO では、こうした技術や知見を持ち、実際に電池の設計・開発に携わる技術者が評価を担当します。例えば不具合解析では、製品の分解調査や、発生した事象を再現する試験などを通じて原因を明らかにし、その結果をもとに改善策を提案。安全性評価でも、発火や衝撃などを想定した試験を行い、試験後の分析を通じて設計上の課題を洗い出します。

サンプルの評価から分析、開発へのフィードバックまでを一貫して行えることが、NECOLABO の最大の特長です。評価結果を示すだけでなく、電池を「つくる側」の視点を生かし、顧客のより安全な製品開発につなげます。



リチウムイオン電池の性能を評価する充放電試験室



発火試験などを行う安全性試験ブース

Daigas グループが推進する蓄電池の受託研究開発

Daigas グループは、今後さらなる普及が見込まれる蓄電池分野で、技術開発や事業の拡大に取り組んでいます。蓄電池の受託研究開発における対応領域を広げるため、グループ内の体制強化も進めてきました。その一環として、大阪ガス株式会社の 100%子会社である株式会社 KRI（以下、KRI）は 2025 年 12 月、エナックスを完全子会社化しました。

KRI は、材料などの基礎的な研究から、電池の劣化診断や寿命予測まで幅広い技術を持つ受託研究開発会社です。一方、エナックスは、電池の試作・製造に加え、電池パックや電池を安全かつ効率的に制御するシステムの開発を得意としています。両社の技術を結び、蓄電池開発の各段階をグループ内でつなぐ体制が整いました。

エナックス 代表取締役社長 北村 雅紀

関係者の皆さまのご尽力により、新評価センター「NECOLABO」を無事に竣工できたことに深く感謝申し上げます。創業 30 周年の節目を迎えた中、全国のお客さまからのご要望が多い電池評価事業の強化を目的に本棟を新設しました。新拠点では様々な使用環境を模した試験や、数十 kWh 規模の電池・モジュールに対応した安全性試験ブースを導入しており、多岐にわたるニーズに応え、より質の高いサービスを提供することで事業の発展に邁進してまいります。



KRI 代表取締役社長 重定 宏明

KRI では従来対応が難しかった大型電池モジュールや多セルでの安全性・信頼性評価が、NECOLABO の開設によって可能となりました。これにより、お客さまの高度化・多様化する開発ニーズにも柔軟に対応できます。また、KRI が開発を進める従来比 5 倍の寿命を誇る「超長寿命蓄電池」の開発についても、まとまった規模の試作や評価により、一層加速することが可能です。KRI グループとして基礎研究や受託開発から、試作、評価、製品化に向けた開発支援をワンストップで提供する体制が一段と強化され、KRI グループの事業成長への大きな弾みへと繋げてまいります。



大阪ガス 執行役員 事業創造本部長 夏秋 英治

本拠点の開設には 2 つの大きな意義があります。第一に、受託試験の質・量を拡充し、KRI とエナックスの事業を掛け合わせ、発展させること。第二に、Daigas グループが注力する系統用蓄電池や再エネ併設型蓄電池の導入において、新規電池の安全性・性能検証をグループ内で一貫して完結できる体制が整ったことです。両社のシナジーを最大限に発揮し、グループの強みとしてさらなる事業領域の拡大と競合他社との差別化を図ってまいります。



今後、NECOLABO は、電池を持ち込めば性能や安全性を把握し、開発上の課題解決まで進められる「電池の研究開発ハブ」を目指します。

Daigas グループは、KRI とエナックスの技術や知見を生かして顧客の電池開発を支援し、リチウムイオン電池を活用する製品の安全性向上に貢献していきます。

施設概要

名 称	New Energy Collaboration Laboratory「NECOLABO（ネコラボ）」
開 所 日	2026 年 10 月 2 日
所 在 地	山形県米沢市窪田町窪田 2474-1
面 積	875m ²
対応サービス	安全性試験、充放電試験、不具合解析、ベンチマーク、安全規格試験（PSE、UN38.3）、分析・コンサルティングなど

※「NECOLABO」について詳細は[こちら](#)

会社概要

会社名	エナックス株式会社
本社所在地	東京都文京区春日 2-12-12 コロネード春日
設立	1996 年 4 月 15 日
株主	株式会社 KRI 100%
代表者	代表取締役社長 北村 雅紀
事業概要	リチウムイオンバッテリーの電極、セルの開発・試作受託、電池パック・システム開発
URL	https://www.enax.jp

会社名	株式会社 KRI
本社所在地	京都府京都市下京区中堂寺南町 134 京都リサーチパーク
設立	1987 年 2 月 20 日
株主	大阪ガス株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 重定 宏明
事業概要	材料分野、エネルギー・環境分野を中心とする研究開発の受託、分析及び試験評価 上記にかかわる調査・業務支援・その他付帯事業 等
URL	https://www.kri-inc.jp/